

京都舞鶴港のコンテナ貨物量が最高記録を更新！ 貨物量全体では4年連続で1,000万トン超を記録！

平成26年2月13日
 京都府商工労働観光部海外経済課
 電話075-414-4842
 京都府建設交通部港湾課
 電話075-414-5302

平成25年（1月～12月）における京都舞鶴港の取扱貨物状況を取りまとめましたので、お知らせします。

日韓定期コンテナ航路の週2便化、積極的なポートセールス活動の展開等により**コンテナ取扱貨物量が6,906TEUとなり、過去最高を更新**しました。

また、貨物量全体としては、管内の火力発電所の定期検査による休止の影響で石炭需要が減少し、前年比8%減となりましたが、**4年連続で1,000万トン超を記録**しました。

1 取扱貨物量

区分	平成25年(t)	平成24年(t)	増減(t)	前年比(%)
総数	11,081,380	11,998,032	△916,652	92
外貨	4,703,093	5,355,950	△652,857	88
内コンテナ	144,569 (6,906TEU)	126,222 (5,902TEU)	18,347 (1,004TEU)	115 (117)
内貨	6,378,287	6,642,082	△263,795	96
内フェリー	4,988,388	5,142,487	△154,099	97

2 主要貨物の状況

(1) 外貨

全体で約**470万t**（輸入:約442万t、輸出:約28万t）、前年比12%の減少

品目	概要
石炭輸入	約 410万t 、前年比14%の減少 ※火力発電所の定期点検による休止の影響
中古自動車輸出	約 15万t 、前年比23%の増加
原木輸入	約 8万t 、前年比29%の増加
石炭灰輸出	約 5万t 、前年比6%の増加
コンテナ貨物	6,906TEU （空コンテナ含:9,133TEU）、前年比17%の増加 約 14万5千t 、前年比15%の増加 ※日韓定期コンテナ航路の週2便化、積極的なポートセールス活動の展開等による増加

(注) TEU…長さ20フィートコンテナを基準(1TEU)とするコンテナの取扱個数の単位

(2) 内貨

全体で約**638万t**、前年比4%の減少

